

萩夏まつりののんた大提灯パレード



日時：8月3日(火) 場所：住吉神社他 萩市内

昨年は雨天の為中止になった、のんた大提灯パレードも、今年は異常なくらいの猛暑の中、無事に開催されました。住吉神社は万治元年(1658年)に商売繁盛・海上安全を願って勧請、翌年5月1日に浜崎の地に建立されました。同年、住吉神社祭礼も始まり、萩毛利時代以来、約351年も続いている萩の伝統行事となっています。また祭礼盛大を図る25町内からなる引受町制度は住吉祭礼の重要な役を担い、全国でも京都の祇園社や長崎の諏訪社にしか見られない珍しいものとなっています。

お供え提灯・お迎え提灯などの提灯が住吉神社祭礼の重要な働きをすることに基づき「のんた大提灯」が始まりました。年に一度の行事ですが各町内の中の連携を図るため、青年会議所では卒会生がのんた提灯を引く事になっています。各町内も人数の減少で提灯の引き手等々の問題もありますが、この勇壮で幻想的な大提灯が萩のまちを練り歩く事にはそんな意味もあると思います。初めて参加された会員の方や5名の卒会生の方にもこの記録的な暑さも後押しして熱く厚く心に刻みこまれたのではないのでしょうか。

萩 JC 特別実行委員会 副実行委員長 槇埜 守貢

